

江別市の予算

【詳細】 財政課 ☎ 381-1010



基本方針

令和5年度は、第6次総合計画の最終年度であることから、各政策の進捗状況や目標の達成状況を検証した上で、基本理念に掲げる「安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」の4つの柱と、根幹となる「協働のまちづくり」の考え方に基つき、予算を編成しました。

また、令和5年度は市長の改選期にあたるため、当初予算はいわゆる骨格予算となりますが、基本理念に基づいた「まちづくり政策」を推進するため、「えべつ未来戦略」の3つの戦略を中核に据え、重点的・集中的に事業を進めます。

さらに、人口減少と地域経済縮小の克服のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に推進します。

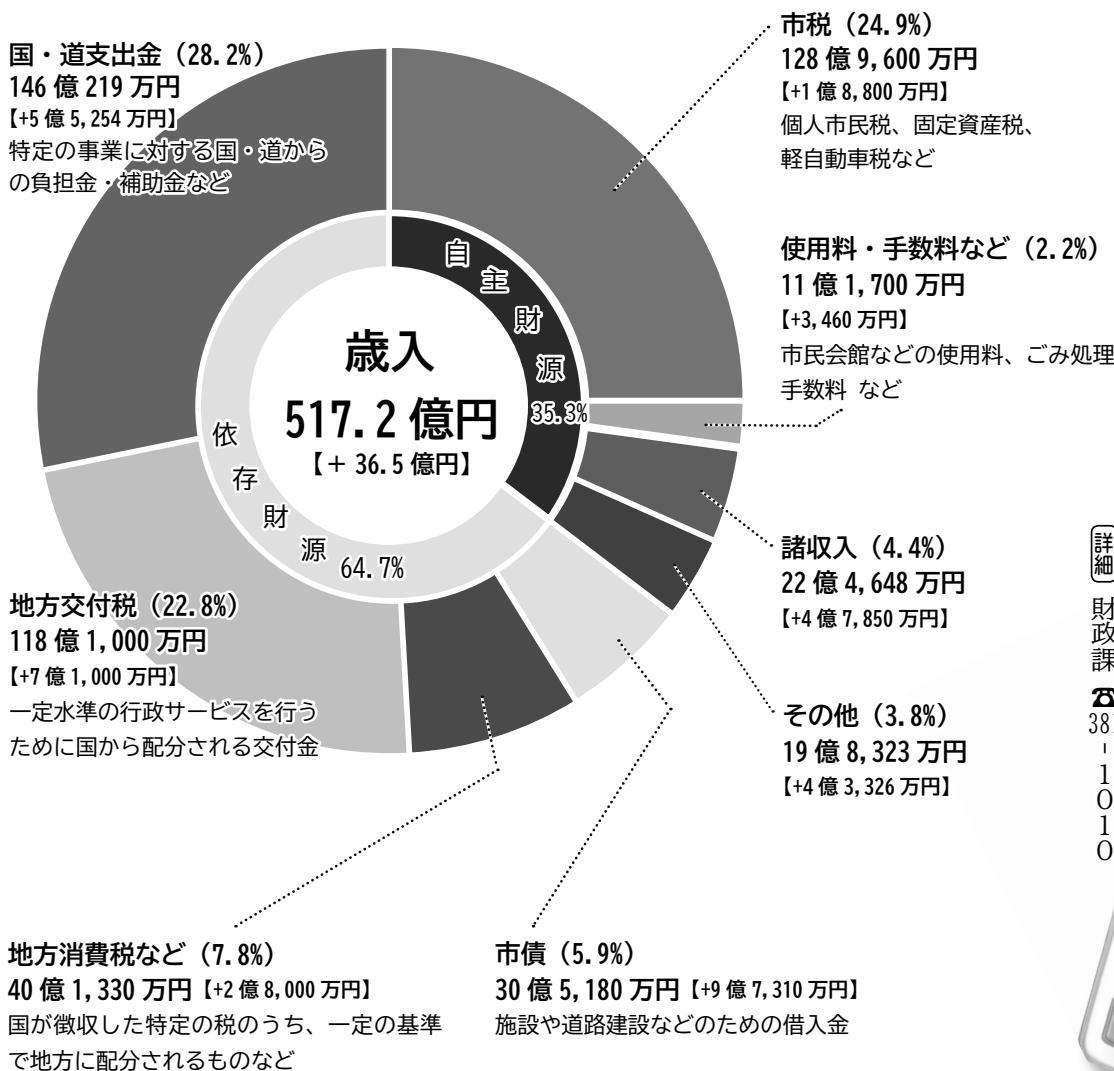
予算規模は拡大

一般会計の予算は、前年度から36億5千万円（7.6%）増加しています。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、961億3,658万8千円となり、前年度と比べて38億9,086万5千円（4.2%）増加しました。

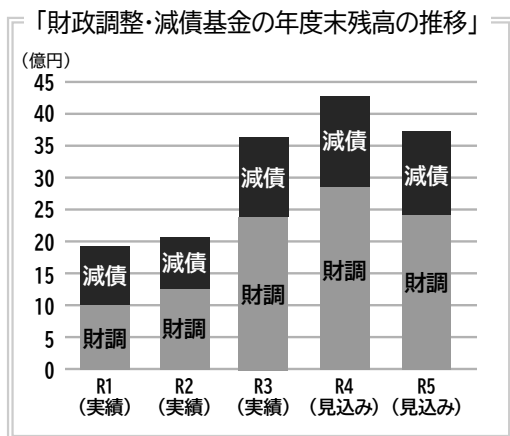
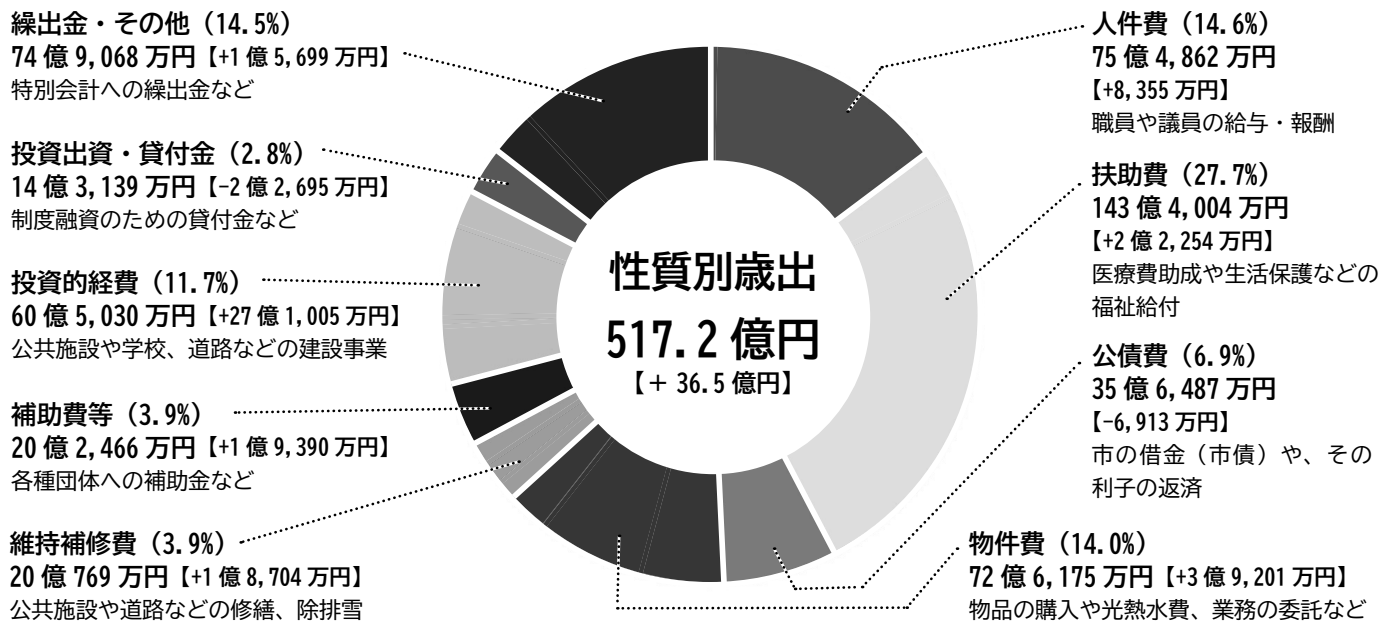
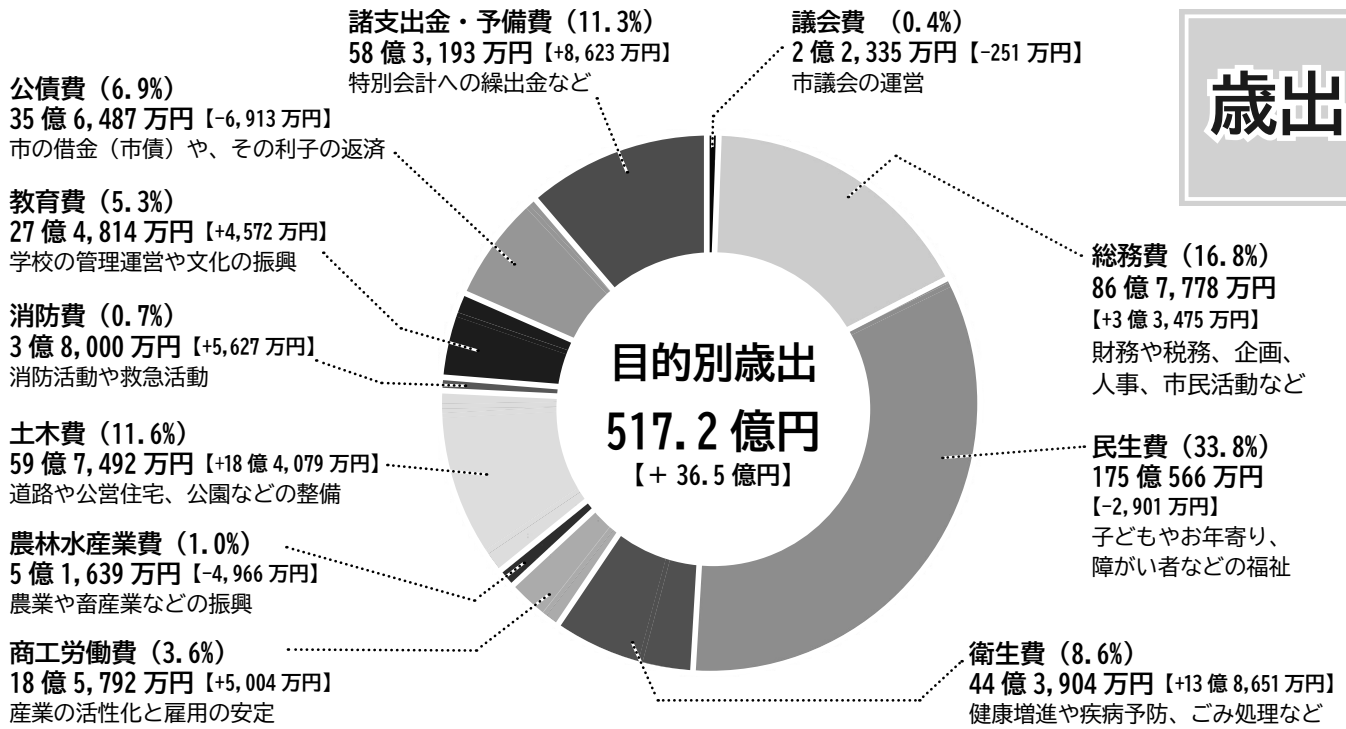
歳出は、福祉・医療などの社会保障費の増加に加え、環境クリーンセンター基幹的設備改良事業など、投資的

歳入

【 】内は前年度比
※ 1万円未満の金額を整理して記載しています



歳出



経費の増加や原油価格・物価高騰などの影響により増加しています。

また歳入は、個人市民税や固定資産税の増により市税の増加が見込まれるほか、消費の拡大により地方消費税交付金の増加が見込まれます。一方、国による臨時財政対策債の減少により、一般財源総額は微増となる見込みです。

基金は減少の見込み

基金は、大型事業の実施、災害や不測の事態への備えなど、目的をもって積み立て、活用しています。

基金残高は、経費の圧縮などにより、令和4年度は増加が見込まれますが、令和5年度は、原油価格・物価高騰などの影響により歳出が増加することから、減少となる見込みです。

今後とも、さらなるコストの縮減や自主財源の確保など、健全な財政の維持に努めます。

令和5年度

主な事業



安心して暮らせるまち

子どもから高齢者まで、あらゆる人が健康的に安心して暮らせるように、福祉・保健・医療サービスを充実するとともに、地域防災力の向上を図り、生活する上での様々な不安を解消して安全・安心を確保することをめざします。



地域連携避難所運営訓練

事業名	金額	主な内容
新規 救急医療対策事業 (内科系二次救急)	1,161万円	休日・夜間の内科系二次救急患者を受け入れる民間医療機関に補助
除排雪事業	15億7,808万円	未利用市有地の活用などによる排雪の強化、雪堆積場の受入体制強化
消防通信指令システム共同整備事業	9,536万円	消防通信指令システムの工事開始
地域防災力向上支援事業	239万円	地域連携避難所運営訓練、避難所運営訓練(自治会単位)
生涯活躍のまち整備事業	855万円	拠点地域を中心とした地域交流事業の実施



活力のあるまち

人がいきいきと暮らす活力あふれるまちとなるように、市民の暮らしを支える農業や商工業などの市の産業を活性化するとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動などを充実し、まちにぎわいや活力を生み出していくことをめざします。



かわまちづくり勉強会

事業名	金額	主な内容
新規 かわまちづくり事業	1億7,124万円	旧岡田倉庫の解体工事
観光振興計画推進事業	1,624万円	新規 第2次江別市観光振興計画の策定
ふるさと納税普及促進事業	2億1,260万円	新規 ご当地ポイント券の導入、ふるさと納税者への返礼品などの贈呈
えべつ観光協会支援事業	2,332万円	えべつ観光協会を中心とした観光推進の支援
旧町村農場保存活用推進事業	2億299万円	旧町村農場の改修工事

令和5年度予算に計上した事業の一部を、「4つのまちづくりの基本理念」に沿って紹介します。詳細は、「絵で見る江別市予算案」(下記QRコード)をご覧ください。





子育てひろば『ぽこあぽこ』



GIGA スクール構想推進事業

市の未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、子育て支援や教育内容などの充実を図ることで、子どもを産み育てる魅力あふれるまちをめざします。



子育て応援のまち

事業名	金額	主な内容
新規 出産子育て応援交付金事業	8,653万円	妊娠時と出産後の面談後にそれぞれ5万円を支給（R5.4～R6.3における妊娠・出産が対象）
新規 子どもの生活実態調査事業	367万円	タブレット端末、郵送によるアンケート調査の実施
新規 子育てひろばぽこあぽこ改修事業	3,300万円	大型複合遊具などを一新、入退館管理システムの更新
新規 市内高等学校・大学教育助成事業	300万円	市内高等学校・大学への支援を目的としたふるさと納税の活用による補助
GIGA スクール構想推進事業	4,749万円	回線の切替えによるインターネットの高速化、学習用タブレットの運用保守
学校給食原材料費高騰対策事業	4,712万円	江別市学校給食会への補助

特別会計の予算

259億7,400万円

（前年度比3億6,900万円増）

- ・国民健康保険特別会計
…125億2,200万円
- ・後期高齢者医療特別会計
…20億1,300万円
- ・介護保険特別会計
…108億7,100万円
- ・基本財産基金運用特別会計
…5億6,800万円

予算には、一般会計のほかに、特別会計と企業会計があります。それぞれ公共料金や利用料などの独自収入があり、一般会計と切り離すことで、事業の収支が明確にわかるようにしています。

企業会計の詳細は、10ページをご覧ください。



環境クリーンセンター

市の豊かな自然を次代に引き継いでいけるように、再生可能エネルギーの推進やごみの資源化を推進するとともに、野幌森林公園や石狩川などの自然環境と触れ合うことにより、人と自然が共生するまちをめざします。



環境にやさしいまち

事業名	金額	主な内容
生ごみ減量化推進事業	73万円	新規 「食品のてまえどり」の啓発用卓上のぼり設置
環境管理計画等策定事業	454万円	第2次環境管理計画の策定
最終処分場整備事業	4,403万円	第2期最終処分場の基本設計
環境クリーンセンター基幹的設備改良事業	12億2,110万円	焼却施設と不燃粗大施設の改修
環境教育等推進事業	383万円	えべつ環境広場の開催

市立病院

☎ 382-5151
詳細 管理課財務係



予算と前年度(決算見込み)の比較増減

区分		R5年度	R4年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	34.5億円	30.8億円	3.7億円
	患者数	69,174人	62,490人	6,684人
	1日平均患者数	189人	171人	18人
外来	収益	18.6億円	19.1億円	-0.5億円
	患者数	137,295人	142,675人	-5,380人
	1日平均患者数	565人	587人	-22人
当年度純損益		0.3億円	4.6億円	-4.3億円
一般会計繰入金		14.7億円	14.7億円	0.0億円
一般会計長期借入金残高		21.5億円	22.8億円	-1.3億円
累積欠損金		3.8億円	※4.1億円	-0.3億円

※ R3年度に減資を実施したため、R4年度期首の累積欠損金は8.7億円

市立病院では令和4年度から地方公営企業法全部適用へ移行し、新たな経営体制の下、重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の診療対応や発熱外来を運用するとともに、感染症対策を行いながら通常診療の継続に努めました。

また、財政面では収支の見える化を進め、経営改善の見直しをもって取り組める形に見直しました。

さらに、「高度先進地域医療」の実現に向け、近隣自治体と連携し、医育大学との共同研究に向けた準備を進めてきました。

令和5年度は収支均衡に向け策定した「江別市立病院経営再建計画」の最終年度となります。計画に掲げている「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するため、職員一丸となって医療の質と経営の質の両立を目指して、下記の事項に取り組みます。

主な取り組み事項

▼ 急性期医療の充実、収益性の高いマネジメントの実施

- ・リハビリテーションの人員体制強化によるリハビリ単位数の増加
- ・「北海道がん診療連携指定病院」の指定を念頭に、緩和ケアチームを運営し、緩和ケア診療加算の取得を目指す

▼ 外来機能の高度化と専門化

- ・消化器内科の体制強化による消化器系がん医療の充実
- ・外来抗がん剤治療の質向上を図り、外来化学療法の連携充実加算取得を目指す

▼ 他の医療機関との連携強化

- ・患者支援センターによる訪問活動などを行い、地域の医療機関との関係作りを進める
- ・高度医療機器や専門外来のPRを強化し、紹介患者の受け入れと逆紹介を推進
- ・市内医療機関との連携による内科系二次救急の輪番制導入に取り組む

▼ 「働き方改革」の推進

- ・ICTシステムの拡充による、WEB受付などの医療サービス向上
- ・新電子カルテシステムによる業務効率化

▼ 広報活動の充実

- ・リニューアルしたホームページの充実化を進め、医療機能や魅力などの情報発信を推進

▼ ガバナンス強化と人材育成

- ・経営目標の共有化と意思決定、進捗管理を明確化し、職員全体で目標を達成する体制構築を進める
- ・認定資格の取得など、医療の質の向上に向けた人材育成を計画的に推進
- ・「経営再建計画」の後継となる「経営強化プラン（仮称）」を策定し、経営強化を着実に推進

▼ 医育大学との共同研究

- ・医育大学と連携し、呼吸器分野における先進的な予防医療や消化器分野における先進的な内視鏡治療の共同研究に取り組む

▼ 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れや発熱患者等の診療対応の継続
- ・通常診療における感染症対応の在り方の検討

下水道事業会計

56億465万円(前年度比1億4,916万円増)

主な事業

- ・管路整備事業 9,128万円
- ・管路施設改築更新事業 4億3,417万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業 7億7,959万円

水道事業会計

41億1,116万円(前年度比1億8,312万円増)

主な事業

- ・基幹管路耐震化事業 3億8,436万円
- ・配水管整備事業 2億8,742万円
- ・配水施設整備事業 440万円
- ・浄水施設整備事業 3億1,938万円

☎ 385-1214

詳細 水道部総務課財務係

令和5年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、基幹管路の耐震化や処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

上下水道